

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	専修大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	センシュウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	企業研修
	学部・研究科等名	ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科
	担当教職員名・役職	ネットワーク情報学部 教授 綿貫 理明 ネットワーク情報学部 教授 小林 隆
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	28
	受入企業等数	19
	受入企業等名	株式会社横浜メディアアド,株式会社セントラルシステムズ,株式会社ファンワークス,コムロコンサルティンググループ,株式会社環,株式会社ALBERT,株式会社ヒューマンメディア,株式会社アイ・エム・ジェイ,株式会社ジュピターテレコム 神奈川メディアセンター,株式会社スパイスワークス,Hamee株式会社,インテリジェントネット株式会社,株式会社インディ・アソシエイツ,株式会社ポイジャー,株式会社アーク情報システム,株式会社オールアウト,株式会社ジャンゴフィルム,KeepAlive株式会社
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏期休暇中に、5-11日間程度、就業体験を実施している。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次、3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏期の1週間以上、企業等において就業体験型インターンシップを行う。事前研修として、自己理解、仕事理解、履歴書作成、ビジネスマナーなどを学ぶ。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	突発的な事故等に関しては、逐次大学に連絡が入ることになっている。

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	キャリアデザインの理解を促した後、外部講師を招いた講習、マナー指導や志望理由書の添削を行っている(自己理解)。また、受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究について各学生が行っている(仕事理解)。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	研修成果の発表会に向けての準備・指導を行った上で、受入企業の担当者を招いた発表会を開催している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	突発的な事故等に関しては、逐次大学に連絡が入ることになっている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施前に志望理由書を作成させ、実施後に研修成果に関するレポートを作成させている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間 5日間-11日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏期休暇中に、学生と受入企業との間でスケジュール調整をした上で、5日間-11日間にわたるインターンシップを実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとつての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	社会で働く意義について、受け入れ企業への事前に訪問した際に企業担当者からアドバイスをもらっている。また、企業担当者が作成した実習内容に関する評価表を基に、担当教員が学生へフィードバック及びブラッシュアップを実施。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.acc.senshu-u.ac.jp/syllsenshu/slbsbdr.do?value(risyunen)=2017&value(semekikn)=1&value(kougicd)=33000&value(crclumcd)=
問い合わせ先	大学等名	専修大学
	担当部署名	教務課ネットワーク情報学部
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	044-911-7132
	メールアドレス	nkyomu@acc.senshu-u.ac.jp